

「日本文化体験 vol.1 ~夏まつり~」

10月19日(土)に「日本文化体験 vol.1 ~夏まつり~」を開催しました。当日は多くの体験希望の子どもたちと保護者の方やSTBA(外国語専門学校)の皆さんの来校もあり、総勢約80名の参加者で大盛会となりました。

開会行事に続き、まず「①盆踊り・神輿体験」でスタートしましたが、多くの方が浴衣姿・法被姿で参加され、日本にいる時以上に和の文化の雰囲気が溢れました。そして、「②スイカ割り体験」「③児童生徒による出店体験」「④PTA出店・かき氷&スーパーボールすくい」…と日本の夏祭りを凌ぐ盛り上がりとなりました。会場のあちこちで見られた子どもたちの笑顔と満足そうな表情に、会の成功を強く感じることができました。



今回の「日本文化体験 vol.1 ~夏まつり~」では次の2つのねらいを設定しました。

- ①「**感じる**」日本の夏の文化や伝統への関心と理解。
- ②「**責任**」体験活動の準備や役割を通しての責任感。

①については、盆踊りやお神輿、夏祭り…等の多くの体験を通して、子どもたちは伝統文化への関心や理解を深めることができました。我が国の四季の美しさもそうですが、日本を遠く離れている子どもたちには、今後も自国の素晴らしさを体感して欲しいと願っています。その上で他国を尊重する心情や態度も育まれるものと考えています。

②に関しては、子どもたちは4グループに分かれ「ボーリング」「輪投げ」「射的」「魚釣り」「ストラックアウト」の出店をそれぞれ創意工夫しました。自らが楽しむだけでなく、来場者への「おもてなし」を意識し、各自が責任を果たそうとする姿が見られました。

BJSでは各種行事や集会等において、単に楽しいイベントの思い出づくりだけでなく、**教育的意義・学びの価値を明確にし、子どもたちと教員とで「ねらい」を共有していく**ことを今後も大切にしていきます。

最後になりましたが、役員さんを中心にPTAの皆さんには準備・運営等において大変お世話になりました。浴衣・法被等の整備と早朝からの着付け、盆踊り練習、スイカ割りやかき氷・スーパーボールすくい等の準備と運営…、その全てが子どもたちの笑顔につながりました。心より御礼申し上げます。 【▼最後はやっぱり「バンドンぱ〜っ」】

